

柿 特報 No.3

H30.5.25
JA中野市営農センター
JA中野市柿研究会

定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

果樹類全般で、昨年よりも7日程度早く生育しています。病虫害の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。また、着果量の多かった園で、小型の葉や色の薄い葉（弱樹勢樹）が散見されています。園地の状況を確認し葉面散布剤の散布や施肥を実施し樹勢の維持に努めてください。

病虫害防除

◎6月上旬（6月11日頃まで）の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散 布 薬 剤	水	100 ℓあたり	散布日	月	日
	展着剤	1 0mℓ	散布量	ℓ	
	キノンドーフロアブル	1 0 0mℓ	収穫 14 日前、5 回以内		
	スミチオン水和剤 40	1 2 5 g	収穫 45 日前、3 回以内		
対 象 病 害 虫	落葉病、炭疽病、うどんこ病				
	フジコナカイガラムシ、オオワタコナカイガラムシ、カキノヘタムシガ ドウガネブイブイ、(コガネムシ類)、カメムシ類、イラガ類				
散 布 量	1 0 a 当り 5 0 0 ℓ				
	* 若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。				

《注意事項》

- スミチオン水和剤 40 の使用回数はガットサイド S と合わせて 3 回までです。
- 弱樹勢樹（葉が小さい・色が薄い等）が見られる場合は担当技術員までご相談ください。

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう